

正直言って現在のままで続けられるか、どうかわかりませんが、それにはやはり皆んな組織力で補うしかないではありませんか。

加瀬博信さん



司会 向後さんは個人経営ですか
向後 はい。

司会 それで向後さん自体が経営ですか、それともご両親が。

向後 一貫経営で、自分でやれるところまでやっています。

一方、自分の家では農業委員会にお世話になっていますが、これから自分で経営（畜産）をやって行くにあたって、県の条例にも公害問題についてありますが、詳細がわかりません。また、育成資金設備資金などの補助、いろいろの手続きの方法などを町が窓口になって協力してもらいたいと思っています。どうしても個人一人だと出来ないところがありますからね。

産業課長 農協とともに努力し、相談しながらやっておりますが、公害と畜産振興と言うことは現実問題として非常にむずかしいことで、出来得る限りふん尿の畑地還元を進めているわけです。またそのため、施設の改善などについて

も畜産振興とともに、努力したいと思っています。

町長 公害の問題ですが、水銀とか、重金属による公害は非常に危険で人命にかかわることで排除しなければなりません。しかし、ある程度の不快感はあっても、多少のことはお互いにかまんしないと国の発展は出来ないと思います。

戦後、日本の高度成長は大企業の努力に負うことも大きく評価されて、良いと思うのでこれにともなう公害は、これから処理するよう努力すればよいと思います。

花沢産業課長



遠藤 抱負、希望は別にないんですが、ただ早く一人前になって自分の店（美容院）を持ちたいですね。

椎名 抱負、希望何んて考えたことはないんです。

司会 そう言う言葉になると、そんな考えになってしまいかも知れませんが「よし、一つ俺がやってやろう」とか…。

椎名 そう言う考えはありますよ。今までは親にたよってききましたから、成人を機会に何かをやろうと言う考えはあります。で、農業は

稲作だけでしょう。ですから畜産もやろうと言う考えはあります。

でも、それがいつになるかは決まっています。

司会 人を倒して先に出ると言うことでなく「よし、俺も五年後、十年後には」と言うように、悪い意味でない職場などの改革をすると言う、希望的な気持、心構えがあるかと思いますが。

平野和夫さん



加瀬 将来の設計と言う考え方をすると、私なんか迷っているんです。職人（植木）さんとして身を立てるかと、言う悩みはあるんです。

平野 農業をやっていますけど、ほんの手伝い程度で、これから経営を見直して、農業プランを立てたいと思っています。

町長 今までは親に養育されて来ましたが、これからは自分のことは自分でやると言う自覚が必要で

すし、また、自分の仕事のみでなく国、県、町と無関係に生きて行くことは出来ないの、社会の一人として、社会を良くするため努力することが、また自分も良くなると言うことは承知していただき

たい。

ことしは衆議院議員の選挙が行われるとのことですが、今までと違った気持で世間をみつめ、投票することが非常に大事だと思う。

江波戸 私の場合は農協に勤めているんですけど、組合員が相手でしょう。だからその人たちに信頼される人間になりたいと思っています。

平野 町長さんの方針ですと、農業の発展、青少年と言ったようなことですが、農業後継者はまだ大きく取り上げてないんだと思うんですが、

町にも継友会と言う立派な会があります、その人たちはすでに経営を自分で樹てて、実践しているような人たちで、いわゆる家庭を持った人たちが多いわけでしょう。

今、私たちの年頃ときは、何を職業に選ぶかと、一番不安定な時期ですよ。ですから町の方でも十分組織づくりをしてほしいと思います。

向後隆輝さん



産業課長 お宅の場合も親子契約は結んでいるでしょう。

平野 結んでいるつつても形だけなんです。

産業課長 実際には貴方が、ある部分について責任を持ってやっているんでしょ。

平野 別に責任を持ってやっていないですけど…。

飯島住民課長



産業課長 継友会に入って遠慮されては困るんです。この件については町条例をつくって推進している市町村は非常にめずらしいと思います。

光町は農業が基本的な産業であると言う建前から取り上げたわけですが、研修会などに出席されるとともに、その後も活発な活動がされるよう事務局と良く相談していただきたい。

司会 皆さんは努力をし信頼を得て、経済的にも社会的にも立派な人になりたい、立派な基礎をつくりたいと言うことでしたね。幾年か後にきょうの座談会も思い出たなることでしょうか。

長時間どうもありがとうございました。

（この座談会は一月十三日に行いました）